

音名

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド	伊
	Do	Re	Mi	Fa	Sol	La	Si	Do	
	ツェー C	デー D	エー E	エフ F	ゲー G	アー A	ハー H	ツェー C	独
#がつくと	チス Cis	ディス Dis	エーイス Eis	フィス Fis	ギス Gis	アーイス Ais	ヒス His	チス Cis	
bがつくと	ツェス Ces	デス Des	エス Es	フェス Fes	ゲス Ges	アース As	ベー B	ツェス Ces	
	シー C	ディー D	イー E	エフ F	ジー G	エー A	ビー B	シー C	英
#がつくと	シーシャープ C#	ディーシャープ D#	イーシャープ E#	エフシャープ F#	ジーシャープ G#	エーシャープ A#	ビーシャープ B#	シーシャープ C#	
bがつくと	シーフラット Cb	ディーフラット Db	イーフラット Eb	エフフラット Fb	ジーフラット Gb	エーフラット Ab	ビーフラット Bb	シーフラット Cb	
	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ	日
#がつくと	えい 嬰ハ	嬰ニ	嬰ホ	嬰ヘ	嬰ト	嬰イ	嬰ロ	嬰ハ	
bがつくと	へん 変ハ	変ニ	変ホ	変ヘ	変ト	変イ	変ロ	変ハ	

音部記号

実音は同じ

ト音記号 ← ト音 男声の場合は1オクターヴ下げて演奏する

ト音記号
オクターヴァッサ ← ト音 実際の音は1オクターヴ下げて演奏する

ハ音記号 ← ハ音

ハ音記号 ← ハ音 八音を表示
(この例はアルト記号と呼ばれる)

アルト（高い）はなぜ低い？

ソプラノ (Soprano, 伊) やアルト (Alto, 伊) は、19 世紀後半まではボーイソプラノ、カストラート (Castrato, 男性の去勢歌手) やカウンターテナー (すべて男性) が歌っていた。従って Soprano も、Alto もイタリア語で男性名詞である。カストラートは 16 世紀から女人禁制の教会合唱に用いられ、更にオペラの女役に使われて優秀な男性ソプラノ歌手が数多く活躍したが、フランスのナポレオン一世 (Napoleon Bonaparte, 1769~1821) が、カストラートは人道的立場から好ましくないと考えてこれを禁止し、女性の歌手が誕生した。それ以降オペラや合唱でも Soprano, Alto は女性の役割となった。「高い」という意味の Alto も女声部では低いパートになった。